

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 藤森工業株式会社
 コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部門管掌 (氏名) 吉野 彰志郎
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日

TEL 03-6381-4211
 平成27年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	47,080	1.7	4,332	4.4	4,319	△5.1	2,813	△6.2
27年3月期第2四半期	46,288	5.7	4,147	11.5	4,548	17.6	2,999	23.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,214百万円 (16.7%) 27年3月期第2四半期 2,755百万円 (△3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	146.83	145.87
27年3月期第2四半期	156.54	155.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	85,879	53,426	61.1	2,736.15
27年3月期	87,342	50,775	57.1	2,602.23

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 52,431百万円 27年3月期 49,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	28.00	—	30.00	58.00
28年3月期	—	33.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	11.6	9,000	8.0	9,200	0.5	5,460	0.1	284.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	19,267,760 株	27年3月期	19,267,760 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	105,230 株	27年3月期	105,181 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	19,162,534 株	27年3月期2Q	19,162,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国では雇用情勢の回復などにより景気は緩やかに持ち直しているものの、期後半に入り中国経済の成長減速懸念が高まり、周辺の新興国へも広がる展開となりました。国内経済においては、企業収益、雇用情勢は概ね堅調に推移しているものの、個人消費の回復に鈍さが見られる中、中国経済の影響を受け企業業績の回復基調にも不透明感が増す展開となりました。

このような環境の下、情報電子事業は減収となりましたが、ライフサイエンス事業と建築資材事業が売上を伸ばし、当社グループの売上は前年同期比で増加しました。

損益面では、台湾連結子会社で新工場建設に伴う先行固定費の増加、米国連結子会社において移転準備に関わる費用増加がありました。また、生産効率の向上、高付加価値製品の販売強化、コスト削減などにより、前年同期比で営業利益は増益となりました。また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業外費用等の増加により減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高470億80百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益43億32百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益43億19百万円（前年同期比5.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益28億13百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

食品用包装材は受注が伸び悩む展開となっております。生活用包装材は、タイ連結子会社の売上は堅調に推移しましたが、国内において減収となりました。また、医薬・医療用包装材では売上微減の展開となりました。その一方で、液体容器については、事業譲受に伴い米国連結子会社の売上を取り込んだことから大きく増収となりました。

この結果、売上高は227億91百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

(情報電子事業)

前年同期において堅調に推移した剥離フィルムについては、一部顧客の需要減の影響を受けて売上減少となりました。情報記録用材においても、「パソコン」向けで受注減となり、また第1四半期で販売が好調だった「モバイル端末」向けでは、第2四半期で調整が入り売上減少となりました。プロテクトフィルムについては、主力の偏光板向け及び工程用部材向けで業界における生産調整の影響を受け、全体として減収となりました。

この結果、売上高は181億22百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、煙突工事並びに空調用配管の売上は順調に推移しましたが、集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上は低迷いたしました。また土木関連においては、トンネル用資材の売上が増加いたしました。

この結果、売上高は61億67百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、台湾連結子会社での新工場建設に伴い有形固定資産が増加しましたが、現金及び預金等が減少したことにより、前年度末に対して14億63百万円減少の858億79百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務、未払金などが減少したことにより、前年度末に対して41億14百万円減少の324億52百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分7億83百万円を含めて534億26百万円となり、自己資本比率は61.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,055	4,276
受取手形及び売掛金	28,425	29,288
有価証券	4,098	3,998
商品及び製品	3,791	3,661
仕掛品	1,209	1,238
原材料及び貯蔵品	1,859	2,150
繰延税金資産	797	746
その他	1,194	1,032
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	48,427	46,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,532	31,554
減価償却累計額	△18,055	△18,564
建物及び構築物（純額）	13,476	12,989
機械装置及び運搬具	45,323	45,664
減価償却累計額	△37,853	△38,700
機械装置及び運搬具（純額）	7,469	6,963
工具、器具及び備品	5,032	5,119
減価償却累計額	△4,391	△4,512
工具、器具及び備品（純額）	641	607
土地	5,867	5,866
建設仮勘定	4,696	6,811
その他	18	14
減価償却累計額	△15	△13
その他（純額）	2	1
有形固定資産合計	32,153	33,241
無形固定資産		
のれん	639	615
その他	837	803
無形固定資産合計	1,476	1,419
投資その他の資産		
投資有価証券	4,293	3,862
繰延税金資産	431	436
その他	600	571
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	5,285	4,829
固定資産合計	38,915	39,490
資産合計	87,342	85,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,990	18,894
短期借入金	855	858
未払金	3,741	2,536
未払法人税等	2,017	1,490
賞与引当金	1,398	1,412
役員賞与引当金	122	61
その他	2,157	1,460
流動負債合計	30,284	26,713
固定負債		
長期借入金	504	74
繰延税金負債	876	738
退職給付に係る負債	3,588	3,681
役員退職慰労引当金	495	471
その他	818	773
固定負債合計	6,282	5,738
負債合計	36,567	32,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	7,654	7,654
利益剰余金	33,548	35,787
自己株式	△110	△110
株主資本合計	47,694	49,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,387	1,146
為替換算調整勘定	851	1,407
退職給付に係る調整累計額	△68	△55
その他の包括利益累計額合計	2,170	2,498
新株予約権	184	212
非支配株主持分	725	783
純資産合計	50,775	53,426
負債純資産合計	87,342	85,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	46,288	47,080
売上原価	36,016	35,922
売上総利益	10,272	11,158
販売費及び一般管理費	6,124	6,826
営業利益	4,147	4,332
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	77	91
受取保険金及び配当金	87	47
為替差益	181	-
その他	85	76
営業外収益合計	434	219
営業外費用		
支払利息	9	7
売上割引	17	19
為替差損	-	198
その他	6	7
営業外費用合計	33	232
経常利益	4,548	4,319
特別利益		
投資有価証券売却益	-	53
負ののれん発生益	88	-
特別利益合計	88	53
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	7	4
投資有価証券売却損	-	9
事業構造改善費用	-	32
特別損失合計	8	47
税金等調整前四半期純利益	4,628	4,326
法人税、住民税及び事業税	1,624	1,475
法人税等調整額	△31	18
法人税等合計	1,592	1,494
四半期純利益	3,036	2,831
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,999	2,813

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	3,036	2,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125	△242
為替換算調整勘定	△419	612
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	△280	382
四半期包括利益	2,755	3,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,741	3,141
非支配株主に係る四半期包括利益	14	73

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,628	4,326
減価償却費	1,911	1,836
のれん償却額	4	33
負ののれん発生益	△88	-
株式報酬費用	24	27
受取利息及び受取配当金	△79	△96
支払利息	9	7
有形固定資産除売却損益 (△は益)	8	4
事業構造改善費用	-	32
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	88	112
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	△24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	72	14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△61
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,994	△883
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△651	△176
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,188	△900
その他	541	△176
小計	5,624	4,076
利息及び配当金の受取額	79	96
利息の支払額	△9	△7
法人税等の支払額	△1,817	△2,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,877	2,141
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,613	△4,150
有形固定資産の売却による収入	4	0
無形固定資産の取得による支出	△16	△26
投資有価証券の取得による支出	△462	△13
短期貸付金の増減額 (△は増加)	2	0
長期貸付けによる支出	△0	-
長期貸付金の回収による収入	6	1
事業譲受による支出	△2,063	-
その他	△8	151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,150	△4,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	0	-
長期借入金の返済による支出	△428	△427
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△632	△574
非支配株主への配当金の支払額	△11	△15
非支配株主への払戻による支出	△15	-
その他	△0	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,087	△1,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△122	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,483	△2,878
現金及び現金同等物の期首残高	10,504	11,083
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,044	8,205

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,340	19,000	5,947	46,288	—	46,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	140	313	42	497	△497	—
計	21,480	19,314	5,990	46,785	△497	46,288
セグメント利益	1,129	2,839	178	4,147	—	4,147

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、当社米国子会社であるZACROS AMERICA, Inc. が米国HEDWIN CORPORATIONから事業を譲受けたことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては5億23百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,791	18,122	6,167	47,080	—	47,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	127	612	42	783	△783	—
計	22,919	18,735	6,210	47,864	△783	47,080
セグメント利益	1,221	2,877	232	4,332	—	4,332

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。